

感染症情報 2月3日～9日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	943例(堺市	81例)
②溶連菌感染症	542例(堺市	79例)
③咽頭結膜熱	91例(堺市	7例)
④水痘	70例(堺市	4例)
⑤RSウイルス感染症	68例(堺市	4例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3413例(堺市 352例)

が報告された。感染症報告数は前週比13.7%減の1,859件であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して17%減、堺市では2%減であった。溶連菌感染症は府下で13%減、堺市で90例→79例の12%減で、定点当たり4.16であった。咽頭結膜熱が府下で12%増、堺市で前週と同数の7例であった。水痘が府下で13%増、堺市で前週と同数の4例であった。RSウイルス感染症は府下で30%減、堺市で10例→4例であった。

インフルエンザの3413例は33%減、定点当たりは16.88→11.38であった。堺市は352例で29%減、定点当たりは17.00→12.14であったが、B型が拡大中の感がある。

堺市教育委員会公表の13日正午現在の学年閉鎖は<中区>東深井小2年、<東区>日置荘西小3年、南八下中1年、学級閉鎖は<堺区>神石小2年、<中区>深井小2年、深井西小3・6年、土師小4年、深阪小4・6年、<東区>登美丘東小4・5年、登美丘西小2年、<西区>浜寺小2・3年、津久野小6年、鳳小1年、鳳南小4年、向丘小2・3・4年、福泉小1・3・4年、<南区>槇塚台小1・2年、城山台小2年、原山ひかり小6年、<北区>金岡小4・5年、金岡南小2・6年、中百舌鳥小6年、百舌鳥小2・4年、西百舌鳥小5年、五箇荘中1年、<美原区>黒山小2・5年であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。